

事務連絡

平成31年3月29日

東芝エネルギーシステムズ株式会社 御中

文部科学省
研究開発局
研究開発戦略官
(新型炉・原子力人材育成担当)付

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。評価基準等については、別に定める「国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価について」をご参照願います。

課題名	企業大型施設における軽水炉燃料および耐震の安全性に関する実習
実施機関	東芝エネルギーシステムズ株式会社
実施期間	平成27年度～平成29年度

【評価結果】

B	ほぼ計画通りの成果があげられた
---	-----------------

【審査評価委員会所見】

< 推奨意見 >

多軸加振台は大学などにはない装置であり、水タンクを用いて、原子炉内での燃料集合体の状況を模擬して理解させる貴重な実習で、東芝ならではの充実した内容である点が評価できる。

座学、実習、実習者間での討論を組み合わせたほか、実習者の習熟度に合わせたカリキュラムを設けて柔軟に対応して指導を行った点が評価できる。

< 今後への参考意見 >

連携した大学の学生に加えて、広く全国の高専、大学院生から参加できるよう、募集、旅費などへの配慮を期待する。

連携する大学との関係を強化し、ここでの研修を学生教育の一環としてカリキュラムに取り入れてもらうなどの受講者確保の工夫や、受講者数の減少を分析・理解し、研修内容の課題を調査するなど、さらなる改善を期待する。